

メディアスエフエム第95回番組審議会 議事録

1. 審議日程

令和5年10月11日(水)

2. 場 所

書面審議による

3. 審議者 ※敬称略、五十音順

出席委員) 市野恵、片山麻有、関雅夫、森岡厚喜

欠席委員) 加藤龍子、下村一夫 以上4名出席

4. 議 題

(1) 報告事項(書面送付にて)

- ・8, 9月の活動報告
- ・今後の活動予定

(2) 番組について審議

5. 審議内容

番組審議「9月1日放送 笑活!834(防災DAY)」

概 要: 笑う門には福来る! 地域密着お笑いラジオ番組

毎週木曜日、金曜日 12:00~16:00

9月1日は「防災DAY」と題して

朝7時から午後8時までレギュラー番組の構成を一部変更し

様々な防災コンテンツを放送した。

実際に災害を経験した方をゲストに招き

被災当時の様子や避難所での生活などお話を伺った。

ほか「東海市地域防災センター」からの中継なども実施。

市野委員 / ・当事者の貴重な話だった

他人事から身近に感じたという言葉が印象に残った。

「命さえ助かれば」という心境で携帯のみ持って避難したそうで

緊急時の不安定な様子もリアルに伝わった。

- ・災害には地震、水害、コロナと多岐にわたり、その種別ごとに避難場所が異なること、逃げる場所の確認を事前に行うことの重要性が伝わった。
- ・地域防災センターの中継は、場所は知っていても「利用しよう」とはなかなかならないので今回の紹介はとても良かった。

片山委員 / ・実際の状況や自分の身に起きたことを聞くことは体験していない私でもイメージしやすく大変だったことが分かった。知多半島も自然災害が少なく東海豪雨以来あまり身近に感じないが避難所などの確認や家の中の危険箇所は家族と共有したいと思った。

・東海市に防災センターがあると知らなかった。火災の体験ができる施設は知多市にもあるが防災センターという名前では無い。

関 委員 / ・パーソナリティのアンダーポイントは安定感があり聞きやすい。中継の中山真希も滑舌が良く分かりやすい

・インタビューで「今、当時」がいつの話か？「避難所に何人いたのか？」のやりとりが混乱していたように感じる。西日本豪雨の体験談は興味ある話だが「少しでも準備しておく」は何をどのように準備するのか具体的な内容が不明。リモートであることと打ち合わせ不足が原因か？事前に話のポイントを出演者が理解し整理して臨むべき。

・中継場所の地域防災センターは、センターの役割や位置づけの説明不足。避難所？地域防災の推進場所？説明が無いと単なる体験の紹介で終わる。

森岡委員 / ・森山さんの生々しい体験談をアンダーポイントの2人が的確な形で引き出してくれる、リスナーの知りたいポイントに響く話でとても良かった

6. 審議機関の答申又は意見の概要の公表

自社ホームページ（URL）への掲載（2023年10月27日）

以上

文責：地域情報部 加藤嘉章